

病院実習・東京衛生病院

同じ理念を共有する病院で経験を重ね

患者様の立場に立った献身的な看護を実践する



(写真は本校で撮影しました)

患者様からの励ましが 心の支えとなりました

3学年の後期から東京(杉並区)に移動し、東京衛生病院で専門領域別実習を行っています。領域別臨床実習では、患者さんを1人受け持ち、症状を把握して、病棟の看護師と指導教員と協力して患者様のためになるケアプランをたて、記録を取りながらさまざまなケアを実践する学びをしています。

受け持ちの患者様は、発話がとても辛そうで体動もなるべく少なくしなければいけない状況で、自分にどのようなケアができるのか不安を持ちながらケアを立案し実施しました。私のできるケアには限界があり

ますが、実習最終日に「今までありがとう。がんばってね!」と精一杯の小さな声で言われ、がんばりが認められ患者様のためになるケアができているのだと自信になりました。

三育は寮制の大学で非常に家族的な雰囲気のある大学です。実習中疲れて寮に帰ってくると、ルームメイトが料理を作ってくれたり、洗濯をしてくれたり、一緒に受け持ちの患者様のケアを考えてくれたり、たくさんの助けと支えを実感しながら学びを進めています。

比屋根 結さん Yui Hiyane

沖縄県立普天間高等学校出身

趣味：体を動かすこと

寮生活では先輩・後輩と同じ部屋で生活。非常に活動的な比屋根さんは、ルームメイトとパーティしたり、楽しいことも辛いことも共有しながら生活しています。三育学院は看護師に必要な品性や「看護の心」を身につけることができ、「何よりも自分が成長できる大学」ですとコメントしていました。